

貴重な水の有効利用のために

～安全な水と衛生施設へのアクセス拡大に向けて～

外務省

平成20年2月22日

「水」はミレニアム開発目標の一部

ミレニアム開発目標：2000年国連ミレニアム宣言を契機に翌年にとりまとめられた、2015年までに達成すべき8つの目標。

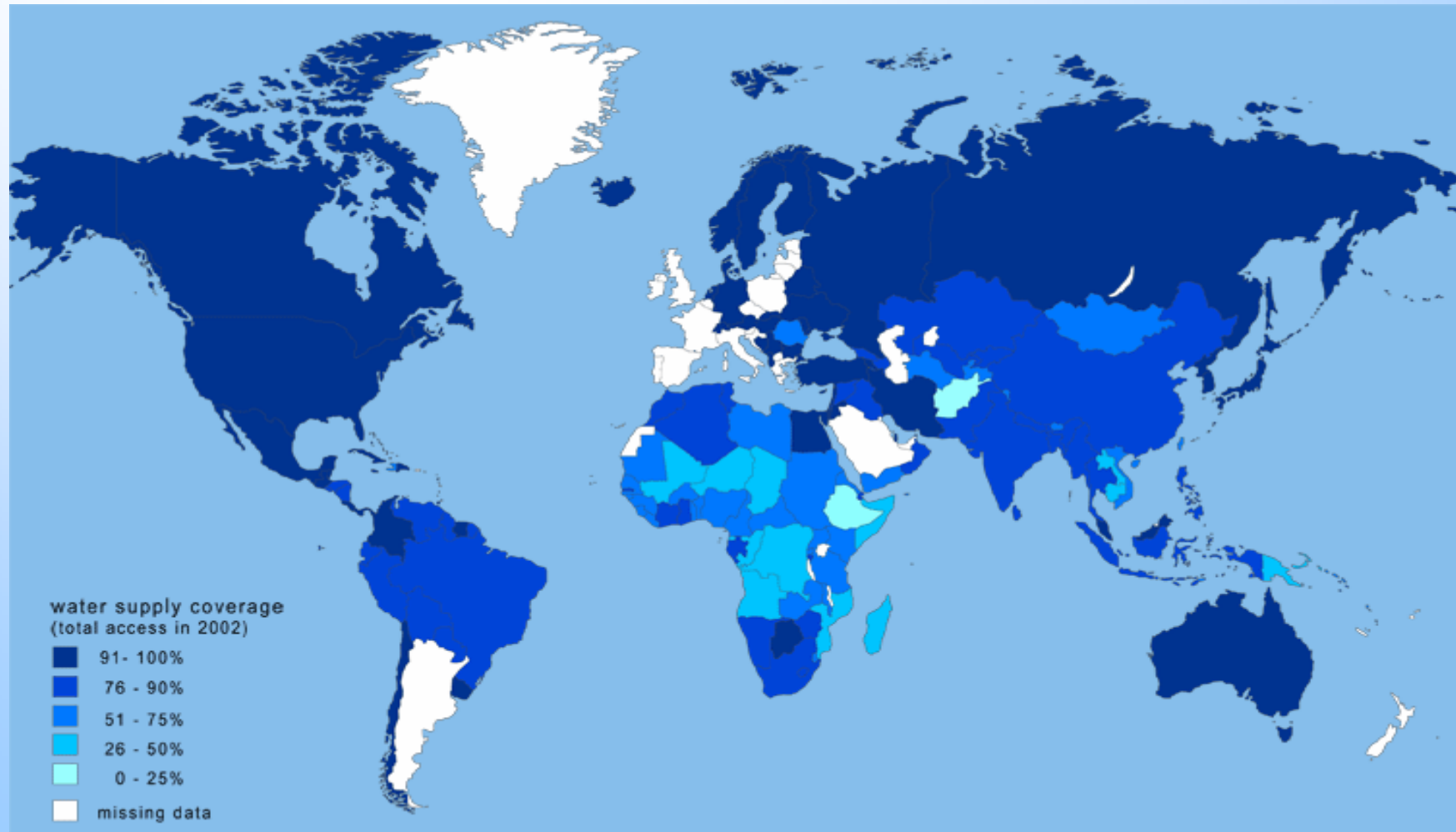
- 目標 1: 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 目標 2: 初等教育の完全普及の達成
- 目標 3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- 目標 4: 乳幼児死亡率の削減
- 目標 5: 妊産婦の健康改善
- 目標 6: HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延の防止
- **目標 7: 環境の持続可能性確保**
- 目標 8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

目標7の下で定められたターゲット

**「2015年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に
利用できない人々の割合を半減する」**

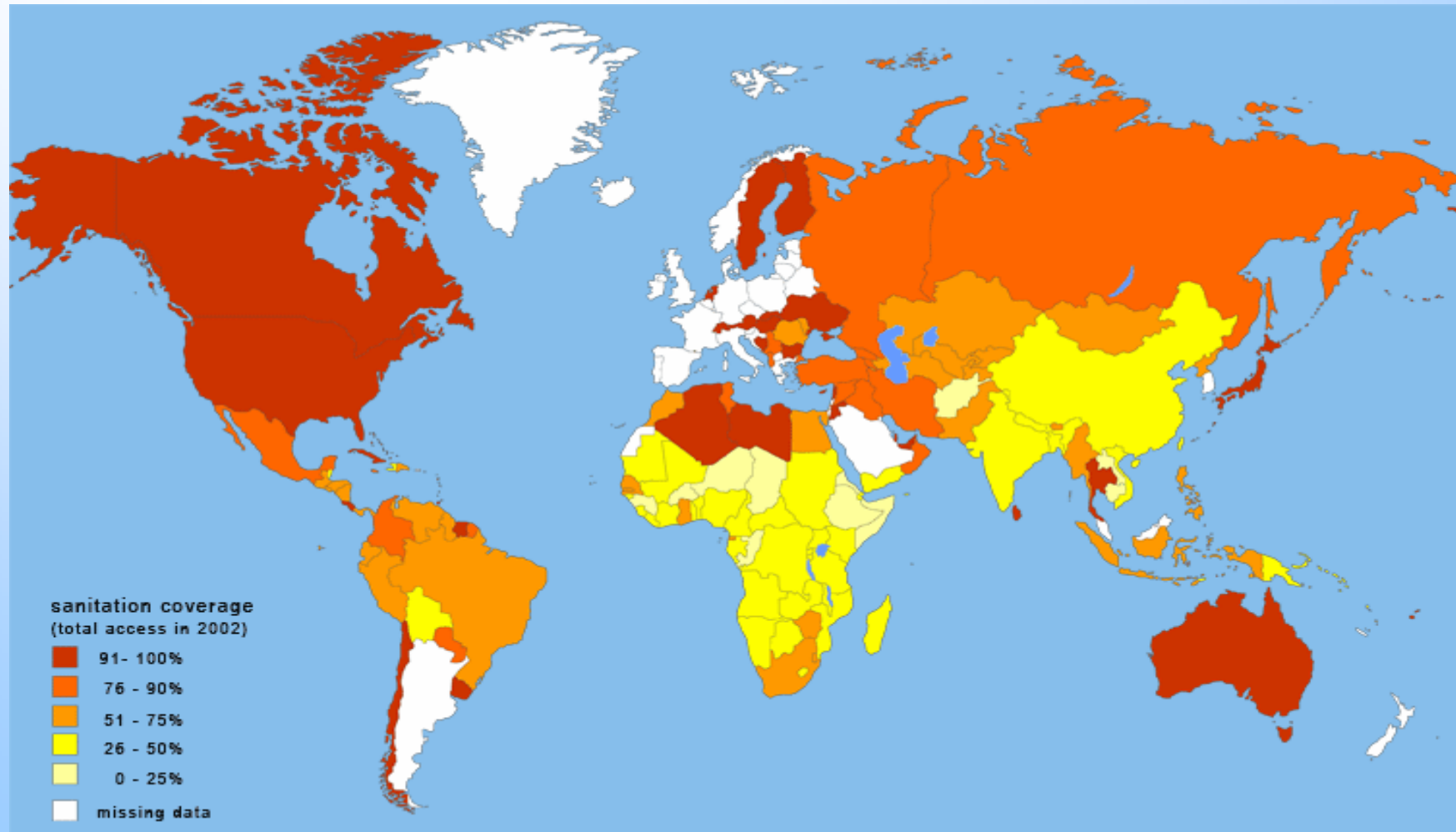
「水」のMDG達成状況

- 全世界で10.7億人（17％）が安全な飲料水へのアクセスなし（うち97％が途上国）。
- アクセス率の低い地域は、大洋州（52％）、サブサハラ（55％）など。



「衛生」のMDG達成状況

- 全世界で26.2億人 (42%) が基本的な衛生へのアクセスなし (うち97%が途上国)。
- アクセス率の低い地域は、サブサハラ (37%)、南アジア (37%)、東アジア (51%) など。
- 地方部での改善が特に遅れており、2015年のMDGsの達成は困難とされる。



水害の事例



ベトナムの首都ハノイは、2つの川に囲まれた低湿地帯に立地しているために、歴史的に洪水の多いところです。近年、経済発展や都市化の進展により急速に人口が増加していますが、市内の排水システムは19世紀のフランス統治時代に建設されたものが多く、老朽化やゴミ詰まり等による機能低下で、降雨が続くと一時的な浸水があちこちで発生する事態となっています。また、下水処理場が機能していないため、排水は処理されることなく直接川に流入しています。

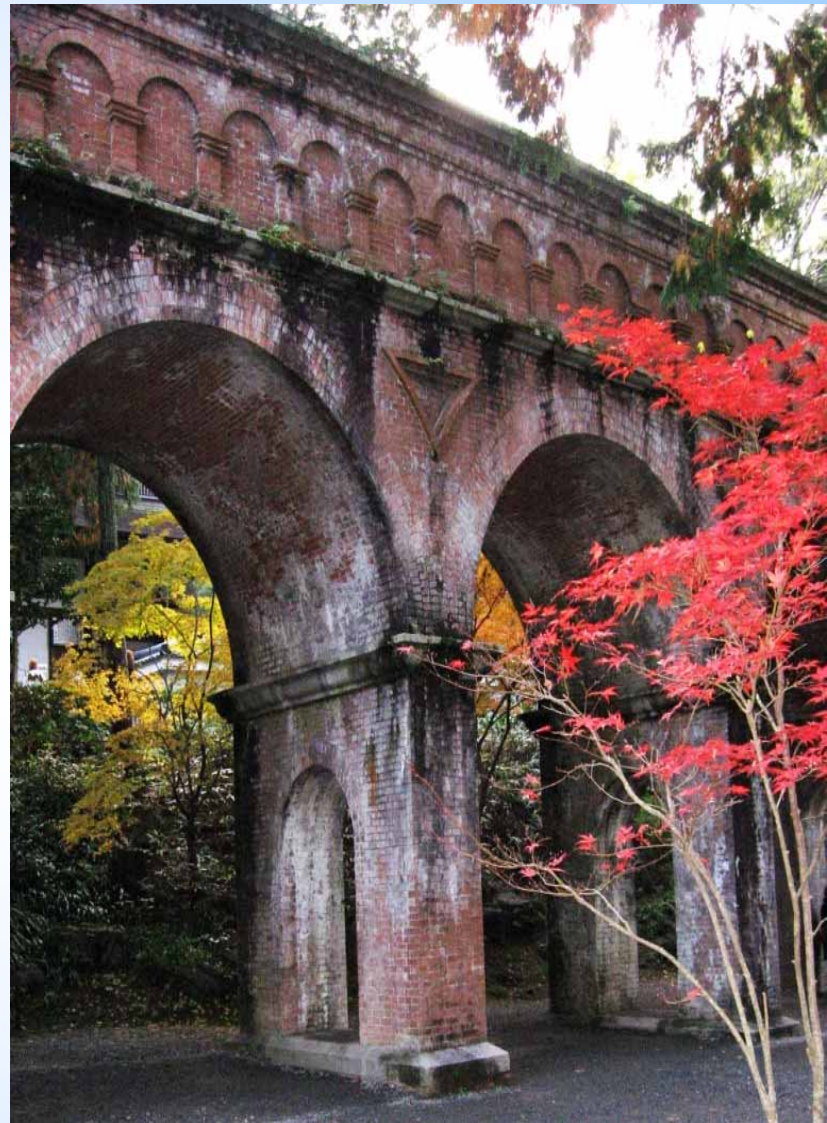
日本は、ハノイ市内の浸水被害と水環境の悪化を改善するため、排水路、湖沼及び河川を改修し、調整池、ポンプ場及び下水処理システムを建設する支援を実施しました。これによって将来の人口増加や経済発展に伴う生活排水、産業排水の増加による洪水と水質汚濁を防ぐものと期待されています。

(出典：外務省「水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ」パンフレット)

琵琶湖疏水 (びわこそすい)



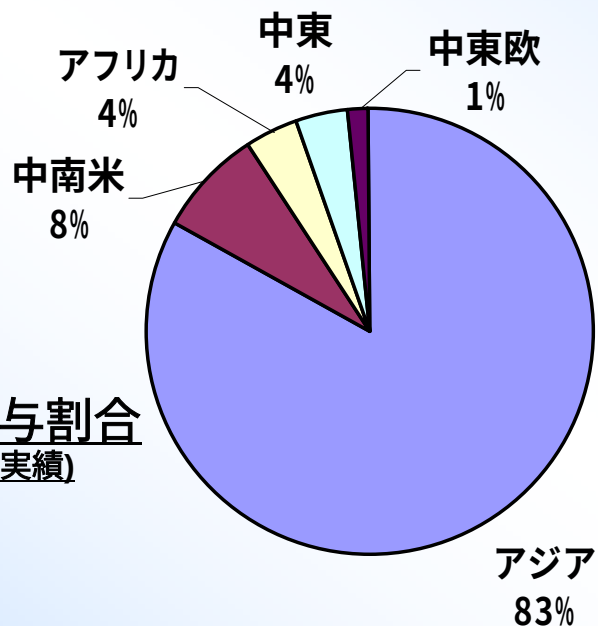
南禅寺にある水路閣



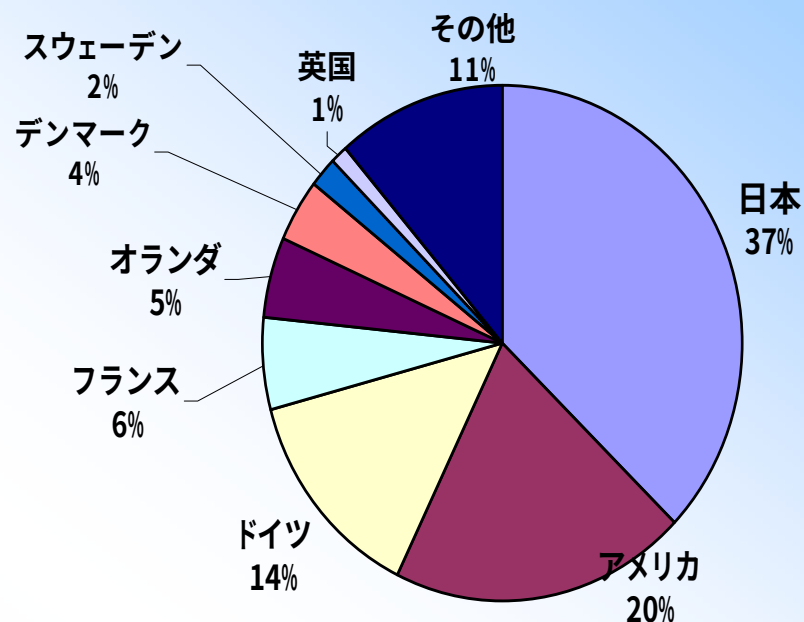
(写真提供:京都市上下水道局)

「水と衛生」分野への我が国の援助内訳

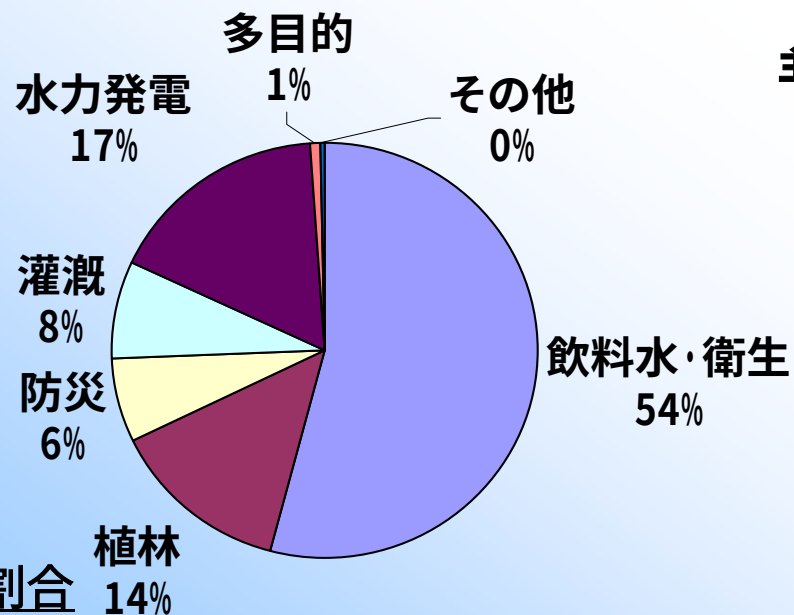
地域別供与割合
(2002-2005の実績)



主要DAC諸国の援助の割合(2001-2005年計)



目的別供与割合
(2002-2005の実績)



(出典:OECD/DAC)

我が国の水と衛生分野への支援



(国際協力銀行による「カル河水源開発・給水拡張事業」)

我が国の有償資金協力を通して、スリランカに建設された上水道施設 (写真は浄水場) により、地域の住民に安全な水が供給されるようになりました。また、現地のJICA協力隊員やローカルNGOとの協力を促進することにより、建設された施設の維持管理に係る住民の協力体制も構築しました。

(写真提供: 国際協力銀行)

無償技術協力を通じて、基礎的な給水施設を供与したり (ボリビア)、衛生施設の設置と保健衛生の教育を現地NGOと協力して行っています (ザンビア)。



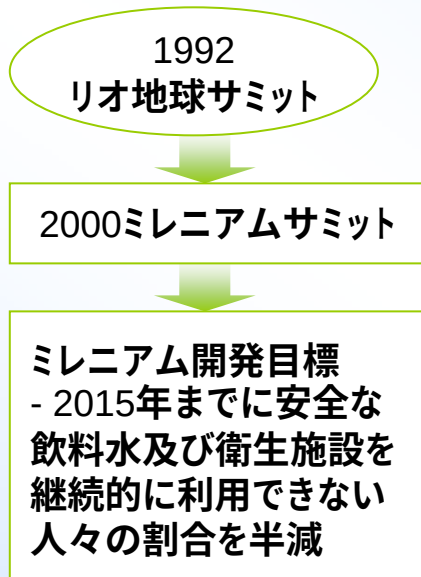
(出典: 外務省「水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ」)

向道 (こうどう) ダム



国際的な水問題に関する取組

国連での取組



2002 持続可能な開発に関する世界首脳会議ヨハネスブルグ実施計画
-2015年までに安全な飲料水を利用できないまたは入手できない、基本的衛生施設を利用することができない人々の割合を半減する
-2005年までに統合水資源管理及び水効率化計画を策定

2004～2010 水と衛生に関する諮問委員会
名誉総裁：皇太子殿下
議長：
2004～ 故橋本龍太郎元総理
2006～ オランダ国皇太子ウィレム・アレクサンダー殿下

国連事務総長

助言・提案

国連・持続可能な開発委員会での検討

2008年国際衛生年

2015年ミレニアム開発目標

G8

2003

G8 エビアン
サミット

水に関するG8行動計画

2008

G8北海道
洞爺湖サミット

世界水フォーラム

第一回

1997年
モロッコ

第二回

2000年
オランダ

第三回

2003年
日本

名誉総裁：皇太子殿下

第四回

2006年
メキシコ

皇太子殿下ご出席

第五回

2009年
トルコ

第一回

第一回アジア
太平洋水サ
ミット2007

貴重な水の有効利用のために

- 循環型水資源管理を通じて水資源の持続的利用を追求すること
- 我が国が有する水分野における高い技術と知見を世界の人々と共有していくこと
- 人間の安全保障の実現のために安全な飲料水や基礎的衛生施設の利用、また手洗いのような生活習慣を改善すること
- 水の問題への地球規模での取り組みを強化すること
- 中央と地方との連携や官民連携など国内的にも国際的にも全員参加型の協力を推進すること



第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)

ご清聴、ありがとうございました



北海道 洞爺湖サミット

G8 Hokkaido Toyako Summit

